

きらめき朝日

全戸配布用

令和2年12月25日号

校長 原田 正明

地域の皆さまの協力で福祉機器を寄贈できました



今年度も朝日中生徒会として、地域の皆様の協力を得て、アルミ缶回収を実施しました。新型コロナウイルス感染症予防のため、回収方法を直接、学校に持参いただくやり方に変更し、また、回数も1回減らしての実施となりました。これらの変更のため、どれくらい集まるか不安でしたが、地域の皆様のご協力のお陰で2回合わせて3,030kgのアルミ缶を回収することができました。

そして、12月21日(月)に町内のふれあい荘、和合荘、明鏡荘、グループホームあさひの4つの福祉施設に、車椅子2台、歩行器1台、非接触型体温計3個を贈呈させていただくことができました。

地域の皆さんの協力で生徒たちの「社会貢献」の思いを形にすることができたことは、本当に良かったと思いますし、これからも地域のためにできることを頑張っていこうとする意欲にもつながると思います。本当にありがとうございました。

なお、来年度についても、アルミ缶回収は継続して取り組んでいきたいと考えておりますので、ぜひ、ご協力よろしくようお願い申し上げます。

『朝日中生が幸せになる7つの力』

朝日中では今年度から生徒の皆さんにつけてほしい力を「朝日中生が幸せになる7つの力」として、次の7つを掲げています。

- (1) 自ら判断し主体的に行動する力
- (2) 目標に向かい粘り強く取組み、やり抜く力
- (3) 他者を理解するとともに協働し課題解決する力
- (4) 自分の思いや考えを確実に伝える力
- (5) 情報を収集し分析する力
- (6) 自らの生き方、将来を考える力
- (7) 地域を大切に思い、地域活動に参加する態度



これらの力を子どもたちがつけられるよう学校の教育活動を仕組んでいきます。また、地域の皆様からもご支援をいただき、一緒に子どもたちを育てていきましょう。

2学期の学校の様子

コロナ禍での2学期となりましたが、学校行事は様々な制限の中、工夫して実施することができました。

8月29日(土)には体育祭を、「獅子奮迅～仲間とともに～」のスローガンのもと、競技や応援などに工夫を凝らして実施しました。そのような中でも、競技の途中で自然に拍手が起こったり、応援の声が出たりと朝日中生の素晴らしさが随所に見られました。

9月26・27日には1・2年生の新チームによる西村山中学校新人総体が開催されました。6月の地区中学総体が中止になっていましたので、今年度初の公式戦ということでしたが、県新人南ブロック大会に柔道部、剣道部、男子バスケットボール部が駒を進めました

9月30～10月2日の2泊3日の日程で、3年生の修学旅行を実施しました。日程や行き先が変更となり、新潟方面への旅行となりましたが、どこに行っても歓迎され、気持ちよく研修ができ、思い出深いものになりました。

10月24日(土)には文化祭を、「百花繚乱～咲かせよう友情の華～」のスローガンのもと、実施しました。国旗を集めて、富嶽三十六景神奈川沖を完成させた全校制作、地域の先生から指導を受けて披露した3年生の伝統芸能発表、全クラスが真剣に取り組み発表した合唱コンクールと内容を精選し、工夫を凝らした文化祭となりました。

最後に、11月28日(土)に県教育委員会主催の「郷土 Yamagata ふるさと探究コンテスト」が行われ、1学年自治会が出場し、総合的な学習の時間での取組みを発表して見事、探究大賞(最優秀賞)をいただきました。



第2回学校運営協議会

10月9日(金)に第2回学校運営協議会が開催され、「中学校における地域住民の学校参加の仕方について」というテーマで熟議を実施しました。その中で下のような意見が出されました。貴重なご意見を今後の学校経営に活かしていきたいと思えます。また、地域の皆様も何かありましたら、気軽に学校までお知らせいただければと思います。

- ・子どもたちを地域に帰す。
⇒地域の祭り、行事、防災訓練などへの参加、地域住民と生徒と一緒に学ぶ など
- ・現在行っている取組みを継続・改善させる。
⇒アルミ缶回収、福祉施設との交流、伝統芸能、キャリアスタート など
- ・地域住民との交流を促進する。
⇒祖父母参観の実施、空き教室の活用、日曜日の学校開放 など
- ・教職員の負担の見える化を行い、住民にも働き方改革を理解してもらう。
- ・学校側の希望リスト(教えてほしいこと)を地域に発信する。